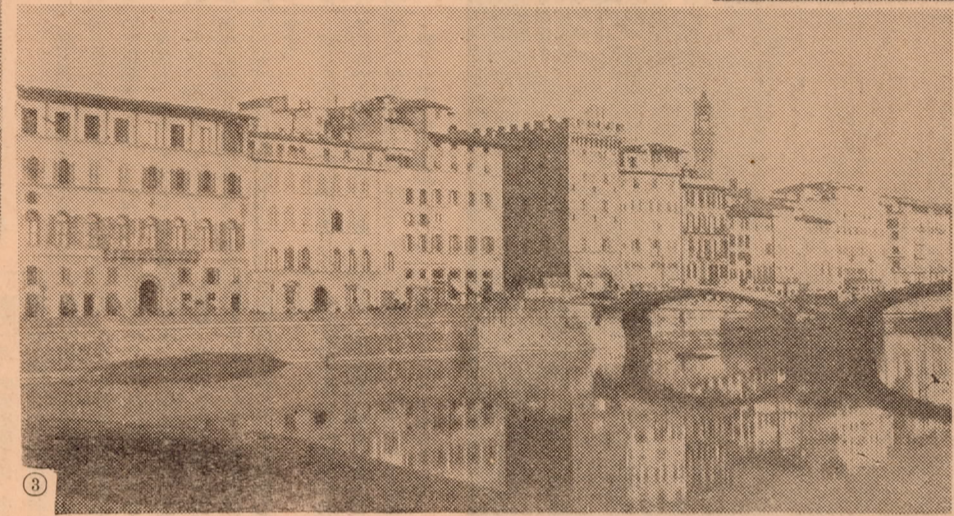


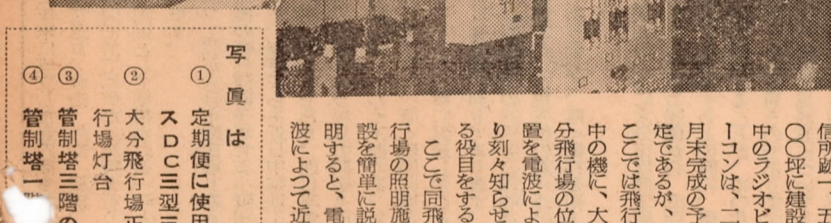
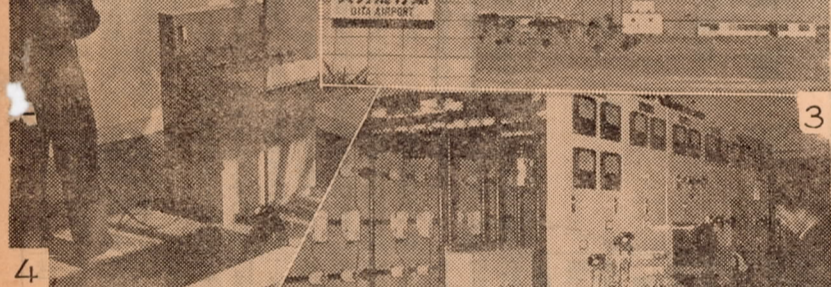
上田 市長 ローマから歸朝

法皇からも激励の御言葉

上田市長は、無事な大勢の人が出迎えてくれて感心するようという意図を持って帰朝した。この「ローマ」は、法皇も御見することができたが、これも法皇の絶大な御力があつた。「長い間市政を留守にして誠に申法皇は竹藪のロザリオと、私の計からこそです」と帰朝の挨拶を述べた。



市長渡欧写真
1) トリノで六分カリツツ教会モロ神父のお母さん(右より一入目)と一緒。
2) トリノのサレジオ会の前
3) フローレンスの街霧深い日のベニス
4) のゴンドラ
(註)この市長はまた沢山の紙面を撮っているが紙面の都合で掲載しません。



青年学級の開設について
青年学級振興法にも現在、南大分、長庚、瀧尾の各学級を開設していきが新年度に開設を希望するものは、市が定める青年学級開設...

大分飛行場

民間空港
—滑走路、照明設備を終る—
定期便は三月上旬の予定

これまでに民間空港として工事を急いでいた大分空港も、去る十二月十日極東航空D.C.二機で、滑走路、照明施設のテストを行つた。この結果の一、二を拾つてみると、飛行機の侵入路上にある桃園無事塔、ラジオ大分のアンテナ塔新日本ゴムの煙突などが、夜間の飛行障害となるので、航空障害灯を輝かせること。滑走路の西方附近にある一民家が、飛行機の安全な離着陸に大きな障害となるので、この移転を急ぐこと、その外耕作地に行く農家の滑走路横断問題など、工事の完成を前にして、早急に解決を要する問題が次々に起つているので、市でもこの解決を急いでいる。

市有地の拂下げ

受付は一月十四日まで

2254坪	70坪	70坪	70坪	70坪	71.2坪	74.45坪
69.95坪	69.69坪	70坪	70坪	70坪	66.25坪	64.28坪

接して来た機は、まもなく飛行場灯台の灯を点し、パイロット達地から俯瞰すると、四〇万坪の広大な飛行場の位置をばつたりと見ることが出来る。この灯台の灯は、恰も夜のバラダイスに等しい壮観さである。又この飛行場は、運輸省大分保安事務所管理することになっていて、この事務所も既に完成しているが、初代所長に馬場三郎氏を迎え、所内は庶務、保安、工務、施設の四課で、人員は所長以下十二三名位になる模様である。市民の皆様に新春初詣は一機で、という期待を抱いていた方もあろうかと思われ、工事の進捗も、定期便は今の処三月月上旬の予定になっている。かつて烈胆の勇士を空の彼方に散らした悲劇の元大分海軍飛行場が、昭和三十一年の早春には平和な飛行場として、郷土大分の発展の為に、大きく君臨しようとしていたのが、今後大いに活用もされ、且また宣伝もして賑々しく願っています。